

協働評価シート

事業名		商店街ソムリエ講座		実施年度	平成25年度
部 局		経済部	課 所	商工労政課	
団体等の名称		NPO法人にはま市民企画ノポック			
評価項目				評価者	評価
相互理解	それぞれの特性や立場を理解し合えたか	お互いの特性や立場を十分に認識、尊重して、事業を実施することができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
対等	双方が対等の立場に立っていたか	対等な立場で協議、事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自主	市民の自主的な活動が尊重されたか	自主的活動を十分に活かして事業効果を増加させたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
自立	市民の自立化を阻害しなかったか	依存体質が助長されるなど、市民の自立化が阻害されることがなかったかどうかを評価。(新たな自発的事業展開につながり自立化が進んだ場合はA評価)	団体等	A	
			市	B	
目的共有	双方が協働事業の目的を共有できたか	協働事業の目的は十分に共有して事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B	
			市	B	
情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	B	
			市	B	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	
			市	A	
市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたか		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	
			市	B	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか、具体的な改善点等があれば記載（自由記述）

<p>団体等</p>	<p>市との協働により、講師となる商店主への依頼を円滑に進めることができた。また、市HPでの広報により、市民に広く講座開催を発信することができ、興味をもった市民の参加が得られた。従来の市担当課の「活性化を目指す中心商店街店主」重視の思考に加え、登り道商店街でのイベント開催に合わせ、外部の店主らによるソムリエ講座を同時開催することによって、これまで中心商店街を訪れたことが少ない新たな市民(参加者)を商店街に呼び込むことができ、イベント参加のみならず、個々の商店再訪のきっかけづくりを行うことができた。</p> <p>また、専門的な知識や技術を知ってもらうことで、店主への親しみ、商店街エリアの魅力などを改めて感じてもらうことができた。</p> <p>一方、講師の各店主からは「小売店は常々単に物を売るだけでなく、『正しく使って欲しい』『美味しく飲んで(食べて)欲しい』『正しい知識を持って欲しい』などの情報を発信したい思いを持っている」との声を聞くことができ、「知りたい」「体験したい」という市民の持つ要望とマッチした場所づくりができたと感じた。</p> <p>今回の協働事業による大きな効果をもとに、経済部での継続事業に向け、改善しながら続けるべく話し合いを持ってもらいたい。</p>
<p>市</p>	<p>イベントや各種事業を通じた商店街との連携実績をもつNPO法人との協働によって、まちづくりの一員としての商店街活動の情報発信が可能になった。</p> <p>一方、市が関わることで、必要に応じた商店街連盟との調整やホームページなど情報発信効果面のメリットがあり、相互に相乗効果が得られた。</p>
<p>相互協議 結果</p>	<p>所期の目的は概ね達成された。</p>

